

平成二十八年三月十七日提出
質問第一九九号

航空自衛隊恩納分屯基地に保管されていたPCB汚泥の搬出・運搬と処理に関する再質問主意書

提出者 照屋寛徳

航空自衛隊恩納分屯基地に保管されていたPCB汚泥の搬出・運搬と処理に関する再質問主意書

私は、平成二十八年二月十八日に「航空自衛隊恩納分屯基地に保管されていたPCB汚泥の搬出・運搬と処理に関する質問主意書」（以下、質問主意書という）を提出し、同年二月二十六日に政府答弁書（以下、政府答弁書という）を受領したものである。

右政府答弁書と答弁書受領後に私が防衛省に照会し、入手した情報に照らすと、PCB汚泥の搬出・運搬業務及び処理業務に係る入札において、官製談合があった疑いが極めて強い。実際、一部業者と政界関係者、官僚らが複雑に絡んで官製談合がおこなわれている、との情報が私の下に寄せられている。

他方、質問主意書四の②で問うたPCB汚泥処理後の残滓物の処理状況に対する政府の答弁は、極めて不誠実な内容となっている。

PCB汚泥とその廃棄物は、国民の健康と生命を害し、環境を破壊する毒性の高いものであるため、保管や搬出・運搬、処理にあたっては、極めて高い安全性の確保が求められていることは、質問主意書でも指摘したとおりである。当然、処理後の残滓物も例外ではない。

以下、再質問する。

一 去る二月二十六日、私が政府答弁書受領後に防衛省へ照会したところ、旧米軍恩納通信所内の旧汚水処理施設で発見されたPCB汚泥の搬出・運搬業務及び処理業務に関する落札額はそれぞれ六千六百十五万円、一億四千七万円であるとの回答を得た。その上で、これらの金額を政府答弁書に示された予定価格で除したところ、落札率はそれぞれ九十九・一四パーセント、九十九・九七パーセントになった。

同様に、航空自衛隊恩納分屯基地内の旧汚水処理施設で発見されたPCB汚泥の搬出・運搬業務及び処理業務に関する落札額はそれぞれ七千五百九十万円、二億六千六百六十九万円であるとの回答を得た。その上で、これらの金額を政府答弁書に示された予定価格で除したところ、落札率は共に百パーセントになった。

① かかる落札額及び落札率に誤りはないか、政府の見解を示されたい。なお、事実と異なるとの認識であれば、正しい数字を明らかにされたい。

② 右四業務の全てにおいて落札率が九十九%を超えているとすれば、官製談合の疑いは極めて高いと考えるが、政府の見解を示されたい。なお、政府として官製談合はなかったと断言できるのであれば、か

かる疑念を払しょくするに十分な理由を明らかにされたい。

二 私が質問主意書四の②で問うたPCB汚泥処理後の残滓物の処理状況に対する政府の答弁は、「福島県いわき市に所在するひめゆり総業株式会社（以下、ひめゆり総業という）の最終処分場において適切に処理されたものと承知している」というものだった。

① 株式会社クレハ環境において、焼却方式で処理されたPCB汚泥約四百六十一トンの残滓物の総量及び成分並びにひめゆり総業における処理方法を明らかにした上で、政府が右答弁で「適切に処理された」とする根拠を具体的に説明されたい。

② 政府答弁書四で、焼却方式で処理されたPCB汚泥約四百六十一トンについて「全て適切に処理されたものと認識」し、処理後の残滓物についても「適切に処理されたものと承知している」と答えているが、いつ、誰に確認し、「適切に処理された」と認識、または「適切に処理された」と承知するに至ったのか。それぞれについて日付及び確認先を明らかにした上で、その根拠を具体的に説明されたい。

右質問する。